

東日本大震災から6年目の3月11日

**自然災害から命を守るために
一人ひとりが主体的に行動しよう！**

災害に備える心構え

1. 自分の命は自分で守る！
2. 災害が発生した時にはすでに勝負がついている！
(災害が発生するまでに何をしてきたかで勝負が決まる！)
3. 普段やっていないと非常時に行動できない！
4. 命を守る主体性を醸成しよう！

東日本大震災以降も日本各地で地震活動が活発化しています。今日の日本は「大地大変動期に入った」とも言われています。南海トラフ、東南海地震については多くの専門家が警鐘を鳴らしています。私たちはいつ起こるかわからない自然災害に対しての備えをつくりだしていかななくてはなりません。

防災士の資格を取得した仲間たちは、災害に備えての心構えを学びます。4つの言葉には過去の災害の痛ましい教訓が集約されています。一人ひとりが命を守る主体性を醸成し、そして普段から行動することが重要です。

東日本大震災からまもなく6年を迎えますが、大震災の教訓は徐々に風化し語り継ぐことは出来ない指摘されています。しかし、私たち一人ひとりが防災・減災の取り組みを職場から実践することで、それが「当たり前のこと」となり、やがては「文化」として継承していくことが出来ると言われています。

**自然災害から自分と家族と仲間と乗客の命を守るために
職場や地域・家庭で防災・減災の行動を実践しましょう！**